

要望書



利賀地域づくり協議会



南砺市長 田 中 幹 夫 様

要 望 書

R03-041-001
教育総務課
学務係

利賀地域義務教育学校の設立について

今年度、利賀在住の児童は9名、生徒は7名、これに「南砺利賀みらい留学生」10名を加えて、利賀小学校15名、利賀中学校11名であります。今年度の年長児2名、年中児1名、年少児3名であり、今後も大きな児童生徒の増加は見込めない状態であります。

山村留學生が加わっても小学校は、依然として全学級複式学級です。また、中学校は、今年度県教育委員会より加配教員の配慮をいただき、主要5教科の教員を確保できているが、今後毎年、加配教員の配置があるという確約はない状態です。受験を控えた生徒がハンディを抱えることが予想されます。

利賀地域に義務教育学校を設立し、小学校・中学校の免許を併せてもつ教員が配置されることで、校内での柔軟な教員配置が可能になります。それにより、小学校の単式学級、中学校の主要5教科の教員の配置ができるようになり、児童生徒、保護者が安心できる教育環境になると考えられます。

また、利賀小・中学校は、これまでも運動会、学習発表会、水泳記録会等の各種行事を合同で行い、小・中学校の教員全員がすべての児童・生徒の支援にあたる意識があります。これを義務教育学校とすることで、従来からの子どもの個性に応じたきめ細やかな教育、地域に根差した地域ぐるみの教育が、9年間を見通して一貫して行うというさらに盤石な教育環境が整うことになります。そうすることで、利賀地域の魅力がさらに増し、さらなる「南砺利賀みらい留学生」の受入、ひいては、他地域からの移住者を呼び込むことができると考えます。

については、「公共施設再編計画改訂年度」の令和7年度までに利賀地域に義務教育学校の設立を強く要望致します。

令和4年3月25日

利賀地域づくり協議会

会長 野 原 哲 二

